○とげあいばごけ（刺合葉苔）ノ北限（堀川芳雄）

植物地理學上、熱帶地方ニソノ本據ヲ置ク植物ガ黒潮ソノ他種々ノ原因ニヨッテ日本列島ニ沿ウテ北上シテキルコトハ著ルシイ現象デアル。今ハ只ソノ一例トシテとげあいばごけ (*Chandonanthus hirtellus* MITTEN) ノ分布ニ就イテ述ベル。本種ハ剛强ニシテ美麗ナ黄褐色乃至黄金色ヲ呈シテ分岐シ、葉ハ不同ニ深ク3裂シテ甚ダ密ニ着キ、苔類デハアリナガラ外見ハ寧ロ蘚類ニソツクリデアルノデ長イ間見逃サレ、筆者ガ昭和5年ニ臺灣産ノ標本ニ基イテ發表スルマデハ何人モ我ガ邦土内ニ産スルコトヲ報告シテナカッタ。處デ本種ハ1815年以來舊熱帶ノ各地ニ廣ク分布スルコトガ知ラレテ來タ。卽チソノ分布ハ熱帶アフリカ・マダガスカル・ベルボン島・セントトーマス島・セイロン島・東印度・ビルマ・ネパール・支那南部・ルゾン島・ジャバ島・ニューギニア島・サモア島・タヒチ島・オーストラリアニ亘ツテキル。我ガ邦内ニテハ臺灣ノ各地ニ豐產スル（臺灣ノ產地ノミハ Monographia Hepaticarum Australi-Japonicarum, p. 206 ニ既ニ發表シタ）ガ、臺灣以外ノ我ガ邦土内ノ產地ハ未ダ發表セズシテ只筆者採集ノ標本ニ基イテ前記 Monographia ニモ日本隱花植物圖鑑839頁ニモ分布ノ處ニ單ニ本州・四國・九州トダケ記シテオイタノデ、茲ニソノ各地方ニ於ケル實際ノ產地トソノ採集年月日トヲ報告シテソノ責務ヲ果スコトトシタイ。

九州: 薩摩ノ紫尾山 (1933年7月16日採集)。

四國: 阿波ノ劒山 (1932年7月15日採集); 大龍寺山 (1932年3月30日採集)。

本州: 安藏ノ嚴島 (1923年3月20日採集); 紀伊ノ滑谷（ナメラ） (1932年8月29日採集); 相模ノ金時山 (1932年3月30日採集); 下野ノ觀音山 (1931年7月19日中村正雄氏採集)。

上記ノ樣ニ今日知ル限リニ於テハ下野觀音山ガ本種ノ北限ニ當ルワケデアル。シカシ、種々ノ狀況カラ今日マデ人々ノ採集ヲ免レテキルト考ヘラレ、今後本邦各地ノ原始林下ヲ入念ニ探セバ意外ニ汎ク分布シテキルヤモ知レズ、必ズヤ遠カラズシテ珍品タルノ資格ヲ失フモノナラント筆者ハ信ズル。

○てがたごけ（手形苔）ノ南限（堀川芳雄）

てがたごけ (*Ptilidium pulcherrimum* HAMPE) ハ北半球ノ北方ニズット分布スルビロードニ似タ感ジノスル外觀ヲモツ。我ガ國ニ於テハ本州ノ各高山ニ知ラレテキテ最近筆者ニヨッテ樺太・濟州島（漢羅山）・朝鮮（白頭山）ニモ產スルコトガ報告サレタ。今度ハ本種ガ更ニ南下シテ四國（阿波劒山・伊豫石鎚山）並ニ九州（豐後久住山）ニモ分布スルコトヲ記シテオク。本種ハソノ分布ガ日本列島ニ沿ウテ茲モ南方マデ下ツテキル一ツノ好例デアル。

○日本列島ニ於ケルこばのちゃうちんごけ（小葉提灯蘚）ノ南限（堀川芳雄）

數多キちゃうちんごけ屬中デすぎノ葉ノヤウナ外觀ヲ呈シテ直立スルこばのちゃうちんごけ一名すぎばちゃうちんごけ (*Mnium microphyllum* DOZY et MOLKENBOER) ハ SIEBOLD

ニヨツテ日本カラ初メテ採集セラレ、1845 年ニ DOZY 及ビ MOLKENBOER 兩氏ニヨリ新種トシテ發表サレタモノデ、ソノ後朝鮮・支那ヘモ分布スルコトガ次第ニ解リ、現在デハ東亞固有ノ特異ナ種デ有名デ、LINDBERG, S.O. ハ 1869 年ニ *Trachycystis* LINDBERG ナル新屬ヲ建テタ程デ、1872 年ニハ他ノ一種えぞちゃうちんごけ (*Mnium flagellare* SULLIVANT et LESQUREUX) ヲモ *Trachycystis* ニ移シタ (彼ニ從ヘバ兩種ハ夫々 *Trachycystis microphylla* LINDBERG, *Trachycystis flagellaris* LINDBERG トナリ、今日コノ說ニ贊成スル學者モアル)。えぞちゃうちんごけノ分布ハ屋久島ガ最南限デアルコトヲ筆者ハ自ラ確カメテ先年發表シタ。而シテこばのちゃうちんごけノ日本列島ニ於ケル南方ノ產地ニ就イテハ確カナ報告ガナイ。筆者ハ昭和 12 年 4 月 8 日ニ屋久島ノ鈴川澤—尾ノ間ニ於テ本種ヲ採集シテキル。卽チ今日ノ知識デハえぞちゃうちんごけモこばのちゃうちんごけモ共ニ仲ヨク屋久島ガソノ分布上ノ南限デアル。

○*Ptychanthus sexplicatus* HORIKAWA 四國ニモ產ス（堀川芳雄）

本種ハ筆者ニヨリ昭和 9 年ニ新種トシテ發表サレタモノデ、臺灣・琉球・九州（高隈山）・本州（那智山）ニ分布スルコトガ報告サレテキタニ過ギナイ。今度、阿波ノ伊延律乃氏カラ送ラレタ標本中ニ、同國ノ佐那河內村產ノモノガアッタ。四國ニ於ケル第一ノ產地デアル。體ガ幅廣クシテ短ク、花被ニハ 6 條ノ襞ガアルノデ他種カラハ容易ニ區別サレル。

○しろふたへうろこごけ九州ニ產ス（堀川芳雄）

しろふたへうろこごけ (*Diplophyllum albicans* DUMORTIER) ハ葉ノ上下・下片ノ中軸部ニ沿ヒテ 4〜5 列ヲナス透明ノ長方形・厚膜ノ大形細胞ガアッテ同屬ノ他種カラ容易ニ區別スルコトヲ得。九州ニ產スルコトノ報告ハ從來ナカッタガ、筆者ハ日向祖母山（1931 年 8 月）ト太隅霧島山（1931 年 4 月）トニ採集シテキル。日本隱花植物圖鑑 p. 845 ニ產地九州ヲモ擧ゲタノハ上記ノヤウナ譯カラデアル。

○中國・九州ニ於ケルくろごけノ產地（堀川芳雄）

くろごけ (*Andreæa Fauriei* BESCH) ハ從來北海道・本州北中部ノ高山蘚ノ代表トシテ最モ普通ニ知ラレテキル。屋久島（黑味岳）、臺灣（新高山）（植物學雜誌 XLVIII, p 456, 1934）ト朝鮮（金剛山）（本誌 XII, p. 669, 1936）トニ產スルコトハ筆者ニヨリ夫々自ラ採集且ツ發表サレタ通リデアル。然ルニ中國・九州ニテハ高山ナキタメソノ存在ガ今日マデ不明デアッタ。筆者ハ中國デハ安藝冠山（カンムリ）（1938 年 6 月 21 日）、九州デハ豐後由布岳（1938 年 11 月 23 日）ノ何レモ頂上近クノ硅質岩ニ多量ニ着生スルモノヲ採集シタ。ソレ故日本隱花植物圖鑑, p. 877 ニハ產地トシテ單ニ本州・九州ト記シタ次第デアル。

○屋久島フロラニ新ニ加フベキ生葉上苔類 3 種（堀川芳雄）

1937 年 4 月 8 日屋久島ノ乃木小屋ニ假泊シタ一行（筆者ノ外學生 4 名、人夫 3 名）ハ前夜來ノ豪雨ヲ衝イテ鈴川澤ニ向ヒ、極相ニ達シタ常綠針闊混交林內ニテ採集シタ苔蘚類中